

Seinan Report #26 | 私の留学体験記 |

留学先 **ボルドー・モンテーニュ大学 (フランス)**
 留学期間：2017.9～2017.12
 Université Bordeaux Montaigne

✈ 留学先を選んだ理由

英語ともう1言語取得したくて、
英語圏以外での留学を目指しました。

文学部外国語学科フランス語専攻4年
 (筑紫丘高等学校出身)

おがわ かなえ
小川 花奈恵さん



留学で視野を広げる大切さを実感

高校時代、国際機関で働く方の講演会で「英語と国際機関の公用語であるフランス語が使えるとよい」という話を聞き、国際機関に興味を持っていた私は、迷わずフランス語専攻を選びました。入学後は、国際機関だけでなく多方面に興味は広がりましたが、世界中で不安を抱えている人の役に立ちたいという思いは変わらず、視野を広げるためにも留学をしようと考えました。

留学をする前に、短期で参加できる研修などを体験したくて、大学主催の「p.CommuniQuons (ペ・コミュ

ニコン)」という教育IPプログラムや「アジア太平洋カレッジ」に参加しました。海外で気をつけるべき点や自分に足りない部分を知り、留学準備を進めるヒントになりました。

3年次の留学では大学付属の語学学校でさまざまな国籍の友人たちとフランス語を学びました。文法、会話以外にツーリズムやメディアといった文化を学ぶ授業もあり、毎日プレゼンやディスカッションの連続でした。留学前は、意見をはっきり伝えることが苦手でしたが、海外では意見を伝えないと物事が前に進まないんだということを実感しました。授業以外では、寮のキッチンで各国の郷土料理を味わい、友人の家で餃子パーティーをするなど、存分に楽しみました。ヨーロッパ各国を旅するなど、全ての経験が、私にとってかけがえのない宝物です。

留学を通していちばん感じたのは、先入観や常識が絶対ではないということです。自分自身が感じることや意見を大切に、お互いに伝え、否定せず、理解し合うことが必要だと実感しました。帰国後はこうした経験を踏まえて、今後の進路について考えていきたいと思っています。

西南学院大学のプログラムだとサポートや見守ってもらえる安心感があって参加しやすいです。



まずは短期のプログラムから始め、長期に挑戦すると、やりたいことが明確になり、準備もじっくりできます。



①凱旋門の上から見たエッフェル塔とパリの街 ②パリの朝食 ③ボルドーで最も歴史あるホテルChâteau Pape Clémentを見学 ④最後の授業後に級友や先生と



国際交流協定校は現在27カ国92大学。
 今後も協定校との活発な交流を通じて“国際色豊かな西南”の伝統を育みます。

ボランティア活動と大学

初 めて留学したときのこ
と。バスから降りた
私めがけて、モヒカン刈りの
若者が猛ダッシュ。「やられ
た」と思った瞬間、若者は、
私の後に降りてくる老人に手
を貸していた。

この国では、扉はめっほう
重いのだが、先を行く人は必
ず開けて待ってくれた。街な
かで地図を開けば、たちまち
人だかりができた。どうも日
本と様子が違う。聞けば、こ
の国では、少し力が必要とす
る人に、余裕のある人が援助
するのは極く自然のこととい
う。

大学は、自由に「学ぶ」と
ころである。学んだ力をどう
「活かす」かは卒業後の実践
に俟つ。しかし、何のために
学ぶのかを考えると、使い方

こそ重要ではないか。学び方
にだって影響してくる。

力を必要としている人がそ
こにいる。自分には多少余裕
がある。力を貸してみる。喜
んでくれる。自分の力に感謝
してくれたことで自分も喜び
を感じる。もっと喜んでもら
いたい。そのためにどうした

らよいか。もっと工夫しよ
う、もっと力をつけよう、と
なる。

本当は、大学は伝授する知
識・考え方をどう使うかまで
教えるべきである。しかし、
これは至難の業でもある。だ
からこそ、ボランティア活動
は、自分の力をどう活かす
か、活かすためにどう学ぶ
か、それを教えてくれる場と
して、ひときわ異彩を放つ。



特集

はじめよう、
ボランティア

西南学院大学では、さまざまなボランティア活動を支援しています。人として大きく成長できる学生時代にボランティアをはじめてみませんか？本特集では、活動を通して出会える発見や学びについて、経験者の皆さんからお話を伺うとともに、本学のボランティア事情などを紹介します。

01

【特集】
はじめよう、ボランティア

■西南学院大生のボランティア事情

■ボランティア体験者座談会

「今、伝えたいこと」

■体験レポート「私のボランティア」

■さあ、はじめようボランティア

08

【教育支援プログラム】

「p. Communications ペン・チ・カン」

09

【Talk About ～私たちの意見～】

「今回のテーマ 防災」

10

【学科フォーカス】

人間科学部心理学科「演習Ⅰ」
商学部経営学科「演習Ⅱ」

12

【就活Gate】

2017(平成29)年度就職状況

13

【先輩のお仕事白書】

日本航空株式会社 客室乗務員

水田 理英さん

14

【こんにちは先輩】

株式会社三好不動産代表取締役社長

三好 修さん

15

【教授の研究紹介 教養のたね】

経済学部国際経済学科 村岡 伸秋 教授

16

【SEINAN News & Topics】

【時代を読む】

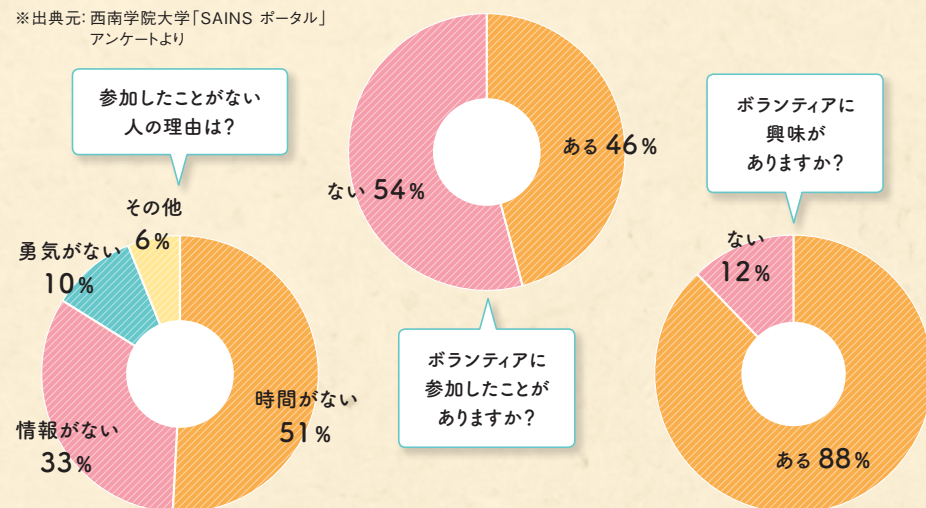
神学部神学科 G・W・バークレー 教授

18

【SEINAN Information】

2018年度入試結果の概要
2019年度入試制度の概要

※出典元：西南学院大学「SAINS ポータル」アンケートより



西南学院大学生のボランティア事情を調査！

アンケート調査を行ったところ、ボランティアに興味はあっても参加したことがない人が多数いました。その理由は、「時間がない」が第1位で、続いて「情報がない」「勇気がない」でした。ボランティアセンターでは、ボランティアに関する情報を一斉メールで配信しています。詳しくは、7ページをご覧ください。



ボランティアセンター
1号館2階エレベーター横・キリスト教活動支援課内
平日8:45～17:20 [E-mail] swvoc@seinan-gu.ac.jp
[URL] <http://www.seinan-gu.ac.jp/volunteer.html>

西南学院大生のボランティア事情

西南学院大学にボランティアセンターが設置されたきっかけや、現役学生のボランティアとの関わり方について、ボランティアセンター事務室の山口由美子さんに聞きました。

ボランティアの種類はさまざま まずはボランティアセンターで情報収集



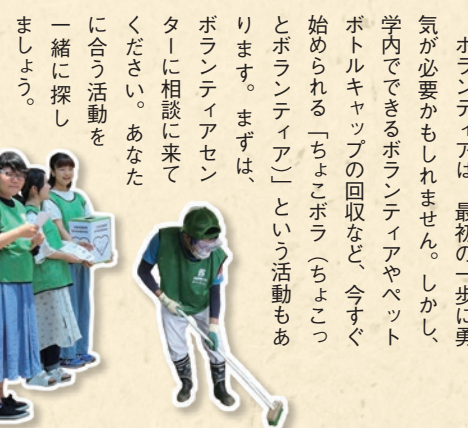
キリスト教活動支援課
ボランティアセンター事務室 副課長
山口 由美子

大事にしているのは、一人ひとりの「点」をつなぐつむいで「線」になる活動。そして、感謝して「ありがとう」を伝える活動です。

西南学院大学でボランティアセンター（通称「ボラセン」）が開設されたきっかけは、2011年3月の東日本大震災でした。「とにかく現地で何か役に立ちたい」という学生たちの思いから始まり、以後、毎年活動を続けています。また、16年の熊本地震や17年の九州北部豪雨など東北以外の地で災害が起こった際も、やはり本学の学生たちが

が現地に赴き、他大学の学生と協力しながら災害復興支援活動に取り組んでいます。こうした災害復興支援をはじめ、ボランティアセンターでは海外や福祉施設でのボランティアや、福岡県の各市町村教育委員会と連携したプログラムなどを提供しています。どのボランティアにも共通するのは、参加して、さまざまな出会いの中で気づきや自身の成長を感じられ、仲間ができることだと思います。

ボランティアは、最初の一步に勇気が必要かもしれません。しかし、学内でできるボランティアやベクトルキャップの回収など、今すぐ始められる「ちょこボラ（ちょこっとボランティア）」という活動もあります。まずは、ボランティアセンターに相談に来てください。あなたに合う活動と一緒に探しましょう。



学生ボランティア団体

本学には、サークルをはじめ、たくさんのボランティア団体があり、それぞれがテーマや目標を持って取り組んでいます。気になる活動があれば、ボランティアセンターにお問い合わせください。



【のびっこ会】

障がいのある子どもやその兄弟児と交流しています。



【いと】

復興支援活動・防災活動を中心に取り組んでいます。



【OPEN】

学生とボランティアセンターをつなぐ学生スタッフです。



【Think&Act】

国際協力・国際交流・国内ボランティアを行っています。



【ワークキャンプ部】

4大学合同・5研究会に分かれて活動する福祉系サークルです。



【手話サークル とびうめ】

手話やろうあ者の暮らしや文化を学んでいます。



【Pao】

発達障がいのある子どもたちと交流しています。



【西南ラブ・グリーン】

他大学や企業・NPOと連携し、地域に貢献するECO活動を行っています。



【学生YM(W)CA】

5つの班に分かれ、子ども支援や地域清掃を行っています。



【SIEC（西南国際教育協力隊）】

他大学と共同でカンボジアの教育支援を行っています。



【西南FIWC九州】

他大学の学生と一緒に、国内外で国際協力・国際交流を行っています。



うきはベース（九州北部豪雨災害支援）

全国の学生ボランティアの無料宿泊拠点及び情報共有・発信の場です。他大学と連携しています。



災害復興支援ボランティア（東北・熊本）

被災地支援のためのボランティアで、現地に赴く以外に募金活動や帰福後の情報発信なども活発です。



海外ボランティア・ワークキャンプ

2003年度からフィリピンで実施。地元の人たちとの交流や貧困地域での活動に取り組みます。



久山療育園ボランティア

本学と関係の深い施設で、知的・身体障がい者との交流や活動支援を行います。

西南学院大学主催のボランティア活動

この他、社会福祉協議会、各NPO・NGO団体と連携し、講習会や説明会を開催しています。ボランティア活動に一步を踏み出す機会がたくさんありますので、ぜひ、ボランティアセンターにお問い合わせください。



学生サポーター制度

教育委員会と連携し、小中学校などの教育現場で授業補助、クラブ支援などを実施します。

ボランティア体験者座談会

「今、伝えたいこと」



人間科学部心理学科
つづき ともひこ
續木 智彦 講師



文学部外国語学科英語専攻4年
おおぶ あかりさん
(西南学院高等学校出身)



法学部法律学科3年
くどう ゆうせい
工藤 祐誠さん
(第二高等学校出身)

西南学院大学に入学して以来、積極的にボランティア活動に取り組んでいる学生2人と、教員として学生と共に海外での教育ボランティアに取り組んでいる先生に話を聞きました。

きっかけは
中学2年生の頃に起きた
東日本大震災でした
(大部)

ーボランティアを始めたきっかけを教えてください。

大部 私は、2011年3月の東日本大震災です。少しでも役に立ちたいと中学校で募金活動を行ったのが、初めてのボランティアでした。当時の私にできることは限られており、大学に入ったらさまざまな活動ができるのではないかと考えていました。

工藤 私は熊本出身で大学入学を機に福岡に来ましたが、入学直後

2016年4月に熊本地震があり、何かできることはないかと思って、天神で復興支援の募金活動を行ったことがきっかけです。

續木 実は私も東日本大震災がきっかけでした。宮城に住む知人のところを拠点に、何度も東北に通っています。

ボランティアに参加することで大学とは違う社会とのつながりもできます(工藤)

ーこれまでにどんな活動に取り組んできましたか。

工藤 ボランティアセンターを通じて、重症児者医療療育センター「久山療育園」やフィリピンでの海外ボ

ランティア・ワークキャンプに行きました。私は活動を通して人の役に立ちながら自分の視野や世界も広げたいという思いがあったので、アビสบ福岡での試合運営ボランティアや子どもたちに食の大切さを伝える「おにぎり塾」など、学外のプログラムにも積極的に参加しています。

大部 1年次の夏にボランティアセンターのプログラムで東日本大震災ボランティアに参加しました。それをきっかけに学生ボランティア団体「いと」に入り、復興支援チャリティーイベントや小学生向けの防災啓発教室の企画運営に携わったり、九州北部豪雨支援にも行きました。

續木 私はライフワークとして毎年東

ーボランティアに参加したことがない人にメッセージをお願いします。

大部 ボランティアというところか構えてしまう人が多いようです。しかし、小さな一歩でも誰かが助かったり、自分自身も成長できるいい機会になります。「プログラムが楽しそう」「仲のいい友人も参加するから」と気軽に参加してみるだけでも発見があると思います。

工藤 友人から「ボランティアをやっ



子どもたちに防災グッズの作り方を指導中。



朝倉のボランティアの写真コンテストで優勝。



熊本地震の復興ボランティアで訪れた仮設団地で。



マニラの小学校での活動の様子。子どもたちと一緒に。

他者と接しながら自分とも向き合う大切な時間(續木)

ーボランティアに参加したことで自身の変化や成長を感じますか。

ているなんですすごいね」と言われることがあります。ボランティアを難しく考える必要はないと思います。

續木 ボランティアは、外に出て人と接しながら、自分と向き合う時間でもあるのです。人のために自分は何ができるか、本当の幸せや豊かさとは、そんな問いを胸に、貴重な学生時代にしっかりと自分と向き合ってください。

さあ、はじめよう ボランティア

さっそく
はじめてみよう!



まずは、学内ですぐにできる「ちょこボラ」をおススメします。
今回の特集でボランティアに対する興味が高まった方は、
今すぐボランティアセンターに相談しましょう!

今すぐ挑戦できる「ちょこボラ(ちょこっとボランティア)」



お弁当容器の回収

リサイクル可能な容器を使った西南学院大学生協やクロスプラザで販売するお弁当は、容器を回収ボックスへ入ると、1個あたり10円の災害支援金として募金されます。



ペットボトルキャップの回収

飲み終わったペットボトルのキャップを回収ボックスへ入ると、キャップ約2,000個で世界の子どもたち1人分のポリオワクチン(約20円)が届けられます。



寄付本プロジェクト

自宅で不要となった古本などを寄付すると、西南学院の奨学金の原資になります。



古切手、書き損じハガキの回収

使用済み切手は福祉活動に、書き損じハガキは発展途上国の支援活動に役立てられます。

ボランティアへの関心が高まったら

パソコンやスマートフォンから気軽にできるよ!

1 ボランティアセンターで相談(または登録)

小さな疑問でも聞いてみて!

ボランティアセンターに行ってみよう! 関心のある分野を伝えたら、ボランティアセンター事務室の職員があなたに合うボランティアと一緒に探します。相談に来るのが難しい場合は、ボランティア情報を届けるメールを配信していますので、まずは登録を!

2 ボランティアに挑戦

相談(または登録完了)したら、気になるボランティアを探し、早速挑戦してみましょう。

ボランティアセンターへの登録

A ホームページから登録

https://www.seinan-gu.ac.jp/volunteer/v_registration.html

西南ボラセン 登録 検索

または

B メールで次の内容を送り、登録

宛先 swvoc-vol@seinan-gu.ac.jp
件名 ボランティア登録 本文 1.在学番号 2.氏名

今から応募できるボランティア

この他、随時ボランティアセンターに尋ねてみてね。



災害復興支援ボランティア

熊本地震や九州北部豪雨の被災地の災害支援のボランティアを募集しています。



海外ボランティア

今からでも夏季休暇に応募が間に合う海外ボランティアもあります。ぜひ、お問い合わせください。



子どもプラザ

ボランティアや西南子どもプラザに興味のある方であれば、経験、専門は問いません。来館した親子と遊ぶなどの活動をしています。

はじめよう、 ボランティア

体験レポート 「私のボランティア」

西南学院大学のボランティアに参加した学生に、
参加したきっかけや参加後に感じたことを聞きました。
今後参加を考えている人は、ぜひ参考にしてください。



ひだか ちひろさん

経済学部経済学科3年
(宗像高等学校出身)

Advice!

先輩からのアドバイス

なかなか参加できずにいる人は、まずは一步を踏み出してほしいです。一步踏み出すことで人生観や視野が大きく変わることもあります。

1 年次の頃から参加したいと考えていましたが、なかなか実行できずにいました。しかし、地元福岡で大きな災害が起こっている現実を知り、自分も現地で役に立ちたいと考え、これまで、うきはベースを宿泊拠点とした九州北部豪雨災害ボランティアに参加してきました。さまざまなボランティアを経験し、私は、普段の生活がいかに幸せかを考えさせられました。初めて民家の泥出し作業を行った時は、全員真夏の炎天下で汗だくになりながら作業し、夜はダンボールの上で寝ました。自分が経験した環境の過酷さは、被災者の方々にとっての日常でもあります。微力ながらも行動し、「ありがとう、またおいで」と言われると来て良かったと感じます。

1 継続することの大切さを胸に



おの 優りこさん

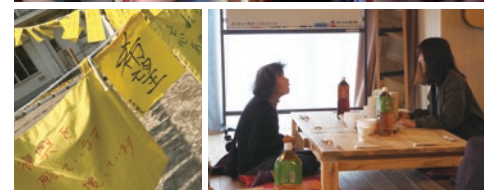
商学部経営学科3年
(城南高等学校出身)

Advice!

先輩からのアドバイス

少しでも興味がある、挑戦したいと思ったら行動してみてください。ボランティアセンターがとても親切に相談ののってくれます。

2 思いやりの輪を大きく広げて
東日本大震災が起こった頃から、ずっと心に引っ掛かるものがあり、大学生になったら行動しようという決意がありました。これまでに参加したのはフリーピンでの「海外ボランティア・ワークキャンプ」、熊本地震や九州北部豪雨の被災地での復興支援、FIRCによるハンセン病の回復村を訪問するワークキャンプ等です。フリーピンで出会った現地の方の笑顔や被災地の方から言われた「来てくれてうれしかった」という言葉は忘れられません。自分がボランティアにきた意味を考えさせられました。また、活動を通して、初対面の人にも自分から声をかけたり、話題を広げることができるようになりました。



先生と学生が
自主的に
取り組む西南学院大学
ならではの
実践・支援プログラム！

本学には、教育に関する特色あるプロジェクトを支援するための制度があります。
各学部(学科・専攻)の先生方がアイデアを出し合い、プロジェクトを構築し、
学生に「学びのフィールド」を提供しています。

***** 今回はフランス語専攻のプロジェクトをご紹介します！ *****

全学部のフランス語履修者対象

p. Communiquons ペ・コミュニコン

～フランス・フランス語圏に関するテーマ設定から現地調査、調査報告までを一貫して学び、世界に向けて発信します～

p. Communiquonsは、自分で動いて情報を集め、旅をプランニングする取材プログラムです。また、十分な下調べをやっておくと、実際に現地に行ったときに、大きな差異を実感できる感動体験プログラムでもあります。

このプログラムでは、フランスはもちろん、カナダ、ヨーロッパ、アフリカ、アラブ諸国、アジア、オセアニアなどのフランス語圏の国や地域を対象としています。まず、文化や芸術、社会、歴史、生活習慣など自分に関心があるテーマについて問題提起ならびに仮説を立てます。そして、疑問に思ったことを現地での取材(アンケートやインタビュー)を通して回答収集し、帰国後に、調査結果を分析します。最後に、日本語とフランス語のWEBサイトを作成して、取材した内容を世界に発信しています。

学生同士、院生サポーター、アンスティチュ・フランセ(フランス政府公式の文化交流機関)、大学の先生方のサポートも魅力のプログラムです。

フランス語専攻に所属する学生でなくても、本学でフランス語を履修していれば誰でも参加可能です。

ホームページの作品集も是非ご覧ください！



p.コミュニコン 検索

日本と現地の大きな差を感じながら、各々が独自に成長できるプログラムです。

10年前、この海外異文化取材研究プログラムを立ち上げた頃、「IT」「自律学習」という言葉はまだなじみがなく、参加学生は海外に行けるという点を最も高く評価していました。しかし、徐々に自分が調査・分析・考察・プレゼンテーションを行うことが「旅」と同じくらい重要だと理解し始めました。現在では、プログラム修了者は、「学び」「結果を出す」「成長」「財産」といったことばを発信し、プログラムの重要性を後輩に伝えていこうとしています。自主的に行動するには、他者との協働が必要であることも少しずつ分かってくると思います。このプログラムを通して成長するきっかけは随所にあります。単なる観光旅行と捉えたとゴールまで到達しません。大学が、学生に機会を提供し、サポートする。学生は、その機会を自信に変換していきます。



文学部外国語学科
フランス語専攻
たけまつ ゆうこ
武末 祐子 教授

Talk
トークアバウト
About
vol.34私たちの
意見！

あるテーマについて
学生と先生がテーブルを囲む。
世代や立場の違いトークディスカッションに
「新しい発見」がある。

今回の
テーマ
「防災」

まずは「防災マニュアル」で
学内の避難場所を把握しましょう



副学長(総務担当)
危機管理委員会 委員長
いしもり ひさひろ
石森 久広 教授
(法科大学院)

日頃から防災について
考える機会を増やしています



人間科学部児童教育学科3年
まへ あゆみさん
(糸島高等学校出身)

災害をひとつと思わず
防災意識を持つようにしています



人間科学部社会福祉学科2年
いちはら りゅういち
市原 陽さん
(福岡大学附属大濠高等学校出身)

日頃から不測の事態を想定し、
物心両面で災害に備えよう。

災害時には迅速な避難が第一
各自が避難場所を確認すべし。

石森 近年、日本列島では大きな自然災害が相次いでいます。防災について、日頃から意識していることはありますか？

市原 自宅では、備蓄食料の準備や家具の配置を工夫するなど、災害時に備えた安全対策を行っています。また、日頃から家族と災害が起こった場合の対応を話し合っており、互いの安否を確認する方法を決めています。



馬場 私は「今ここで災害が起こったら」と考えることを習慣としており、どこに避難すべきか把握するよう心掛けています。

また、自宅ではガスボンベや、カップ麺等の非常食を日頃から多めに備えています。石森 災害時には、速やかに避難することが重要です。本学でも、避難場所を明記した防災マニュアルを作成しています。各教室や学生課などで、ぜひ確認してください。

常に万一の事態を想定し、
パニックを最小限に防ぐ。



石森 お二人は災害ボランティアにも参加されています。その現場で防災について気付いたことや考えたことをお聞かせください。

市原 私は2017年の九州北部豪雨の被災地で、住宅が土砂に埋まった光景に衝撃を受けました。日頃から心の準備をしていますが、あのような事態に直面したら、パニック状態になるのは避けられないと思います。

馬場 熊本地震の復興がある程度進んだ時期に、現地の方に「街が復興しても、心の安定を保つのがなかなか見つからない」と聞き、災害によって生じる心の傷がいかに深いかを実感しました。その後、防災関連のイベントや研修に積極的に参加し、防災意識を高めるよう心掛けています。石森 被害を最小限にとめるためにも、二重三重の心の備えが大切です。避難場

助けを求める人の心に
寄り添える優しい感性を。

石森 防災意識を高めるために意識した方がいいこと、あるいは、個人的に考えていることなどあります。

馬場 「教育の制度と経営」の授業で、東日本大震災で被災した小学校の問題をテーマに、教師が持つべき意識や行動について議論しました。明確な答えは出ませんでしたが、防災について深く考える機会になりました。多くの学生にとって、普段の大学生活で防災を意識する場面は少ないと思いますが、災害ボランティアに参加するなど、防災を考える機会を意識的につくるといいと思います。



市原 私個人としては、災害復興支援の経験を踏まえ、万一の災害時には周囲に対し何らかの力になれるよう、今後も努力を重ねたいと思っています。石森 学生の皆さんには、さまざまな機会を通じて、助けを求める人の気持ちに寄り添える感性を育んでほしいと思います。その姿勢が、防災意識の向上にも役立つでしょう。

今回は、他者に寄り添える「心の専門家」を育成する人間科学部心理学科から田原直美准教授の「演習I」と、経営学の仕組みと企業経営を体系的に学ぶ商学部経営学科から鄭義哲准教授の「演習II」を紹介します。

学科フォーカス

No.
34

人間科学部
心理学科

演習I
ってどんなゼミ？

他者との関わりや状況から
人の行動を探索し、
実証研究とグループワークを通じて
課題解決のスキルを磨く。



基本書の輪読と議論を通じ、
社会心理学の基礎知識と
多様な研究方法を理解する。

私たちは家族、友人、職場の同僚など、
多様な他者との関わりの中で自己を形成
し、行動しています。こうした他者との
関係や置かれた状況から受ける社会的影
響過程を分析し、社会における人の行動
を研究するのが社会心理学です。

ゼミでは、まず社会心理学の基本用語
や論点を概説した基本書を輪読し、代
表的な研究方法や実験の進め方を学びま
す。前半の授業では、学生がそれぞれの
担当テーマについて学習成果を発表し、全
員で議論しながら理解を深めていきます。
この段階では、3年次生の多くが本格的
な議論に慣れない点を考慮し、発表
者以外も毎回質問を一つ以上考えてくると
いうルールを設けています。

他ゼミとのワークショップや
九州学生心理学会に参加し、
実践力を高めていく。

ゼミ後半からいくつかのグループに分か
れ、家族やサークル間の人間関係、友人と
の関わり方など、身近な他者との関わり
の中からテーマを設定してグループワークを
行います。過去には、ファン心理をテーマ
に、その仲間意識や対立構造について実験
を行い分析したグループもありました。テー
マの内容に関わらず、仮説を立て、検証・
考察を深めていくプロセスでは、個別的文



たばら なおみ
田原 直美准教授
九州大学大学院人間環境学
府博士課程後期満期退学。修
士(人間環境学)。専門は産業・
組織心理学。研究領域は職場
のチームワークとコミュニケーショ
ン。近年はメンタルヘルスに関す
る研究や調査活動にも力を注ぐ。

献研究に加えて心理学の授業で学んだ
調査、実験、観察といった技法も駆使しま
す。こうした仕上げた研究成果は、毎年
12月に開催される九州学生心理学会でも
発表します。

また、夏季休暇期間中には、産業臨床
心理学を研究する小川邦治准教授のゼミ
と共同で行うワークショップのほか、オー
プンキャンパスでの社会心理学ブースの運
営も体験します。毎年、後期のゼミで見
違えるほど議論が白熱するのは、多様な
体験を通じて学生一人ひとりが実践力を
高めた証と言えるでしょう。

社会のあらゆる場面で
自分の役割を見いだし、
課題解決を担える人に。

SNSでの配慮を欠いた書き込みや端
を発するトラブルなど、今日では、他者
との関係性に対する無自覚な行動によっ
て引き起こされる問題が目立ちます。

他者の範囲が広がる中、社会でも職場
でも、これまで以上に他者との適切な関
係を構築できるスキルが求められています。
演習を通じて、学生たちは集団の中
で役割を分担し、お互いが適度に依存・
支援し合いながら課題を解決する能力を
磨きます。また、発表に向けてデータを
適切に収集・分析する情報処理能力は、
就職活動はもちろん、企画書や報告書の
作成といった実務にも役立ちます。演習
での学びを生かし、将来は社会のさまざ
まな場面で活躍してほしいと思います。

商学部
経営学科

演習II
ってどんなゼミ？

統計的な分析手法を用いて
独自の投資計画を検証し、
企業と社会を読み解く力を養う。



投資家の視点で
企業を分析する。

このゼミでは、2年次から4年次ま
で貫いて「企業を知ること」をテー
マとし、2年次の「演習I」ではその
第一歩として財務諸表の読み方など経
営状況を読み解く分析手法を学びま
す。この知識をベースに、3年次の「演
習II」では投資したい複数の株式銘柄
(企業)を選定し、独自の株式ポート
フォリオ(銘柄の組み合わせ)を作成
します。いわば投資家の視点で企業を
知る訓練です。ここで重要なのは、そ
の企業を選んだ理由について、自分の
言葉で説明できるかどうかです。投機
的な利益の最大化ではなく、選んだ企
業を応援することで社会のどんな課題
解決に貢献できるかを、実証的に説明
できる論理の構築を目指します。

企業選定の根拠を
レポートにまとめ
日経STOCKリゲに参加。

最終的には、銘柄選定の根拠を
レポートにまとめ、日本経済新聞
社主催の株式学習プログラム「日経
STOCKリゲ」に参加します。そ
のため、前期では複数のグループに分
かれて過去のレポートを分析し、日経
新聞の記事で論点の理解を補足しなが
ら、投資テーマ選定に向けた視点を鍛
えます。なお投資を考える基礎とし
て、学生には2年次の「財務管理論I
II」の履修を必須としています。その



ちやん ういちよる
鄭 義哲准教授
神戸大学大学院経営学研究科
修了。博士(経営学)。専門は実
証ファイナンス。企業の財務的
意思決定と証券市場についての
実証分析や、企業価値における
コーポレートガバナンスの研究な
ど、研究領域は多岐にわたる。

後、グループ別に自分たちで考えた投
資テーマに沿ってポートフォリオを作成
し、ゼミでの議論を重ねながらレポー
ト作成に取り組みます。過去のゼミで
は「資源大国ニッポン」と題してサイ
クル技術に長けた企業を選び出したレ
ポートや、先進諸国の中で比較的低い
とされる日本企業の労働生産性の向上
を念頭に、労働環境の改善に努力する
企業に注目したグループもありました。
レポート作成が佳境に入る12月には、
他大学との合同ゼミ発表会を毎年実
施しています。例年、外部からの新鮮
な指摘や疑問に対応する中で、レポー
ト内容がより充実します。2018
年は南山大学との発表会を予定してい
ます。

ゼミで磨いた
伝える力と協調性を、
将来に生かしてほしい。

銘柄選定の過程で、学生は多くの
企業のデータを読み解くことで、マク
ロとミクロの両面から経済を見る目が
養われます。また、銘柄選定の根拠
をまとめる過程で磨かれるのは、論理
的なストーリーを構築し、説得力のある
文章を書く力です。こうした「伝え
るスキル」は、4年次で卒業論文を
作成する際はもちろん、社会に出て周
囲に自分の企画や意見を伝える際にも
力を発揮します。同様に、ゼミでの
グループ活動で培った協調性は、将来
組織の一員として生きていく上で大いに
役立つことでしょう。

先輩のお仕事白書

先輩の仕事内容や就職エピソードから見つける就活のヒント。

お客様の気持ちを察する感知力を磨き、 一期一会のご縁を大切に、 心に響くおもてなしを。

今回の先輩は **水田 理英さん**

日本航空株式会社
客室乗務員

2015年 国際文化学部国際文化学科卒業

Profile 八女高等学校出身。大学時代は海外への関心が高く、イギリスへの短期留学の他、海外旅行や海外ボランティアを経験。日本航空へ入社し、幼少期から憧れていた客室乗務員に。国内線乗務を経て、現在は主に日本と欧米各国を結ぶ国際線に乗務している。



海外ボランティアを機に、 海外での経験値を高めた大学時代

1年次の冬、大学が主催するフィリピンでの海外ボランティアに参加し、日本との生活環境の違いに衝撃を受けました。この体験を機に海外への関心がより高まり、2年次の夏季休暇を利用して友人とヨーロッパ周遊の旅をしました。3年次の夏にはイギリスでの短期留学を経験し、視野を広げました。また、学内のボランティアサークルに所属し、フィリピンの貧困地域を支援する活動も続けました。

幼い頃から、私の夢は客室乗務員になることでした。大学でもその目標は変わらず、客室乗務員志望者が多いと聞いたゼミを選択したほです。3年次の春から本格的な就職活動を始め、同じ目標を持つ仲間と励まし合いながら夢を叶えることができました。



常にお客様の心に寄り添い、 満足いただける対応を

入社後は約1年半の国内線乗務を経て、現在はロンドン、パリ、シドニー、ニューヨークなど、日本と世界各国を結ぶ国際線を中心に乗務をしています。新人時代は今も、制服に着替え、乗務前のブリーフィングに臨む際は、気が引き締まります。乗務中に心掛けているのは、感知力を働かせることです。ちょっとした表情やしぐさからお客さまの気持ちを察し、心に寄り添い、本当のご要望は何かを考えながらサービスしています。先日もロサンゼルス便の夜間フライト中に、読書灯をつけて長い時間仕事をされているお客さまに、タイミングを見計らってコーヒーをお出したところ「眠くなったのでちょうど欲しい」と思っていた」と喜ばれました。

また、外国人のお客さまから「日本の『おもてなし』とは、どういうことですか」と質問され、「言葉を交わさなくても相手の望みを察して応えることです」と説明をしたことがあります。1日のフライトで出会うお客さまは多い日は約1,000人にもなります。そのお一人おひとりに、この便に乗ってよかったとご満足いただけるよう、一期一会を大切に、感知力と対応力を磨くことを心掛けています。

今の目標は、いつか私が乗務する便に自分の

子どもを乗せることです。その日を夢見て、これからも努力を続けます。

自分なりの目標を持ち、 有意義な学生生活を

就職活動では航空業界だけでなく金融など他の業種も研究しました。また、就職課のチューデントアドバイザー制度を積極的に利用し、航空業界で活躍するOB・OGのほか、プライダル企業や生命保険会社に内定した先輩の体験談を聞きました。さまざまな業界や仕事を知り自分の気持ちを客観的に整理することで、客室乗務員への思いの深さを再確認し、迷わずこの道に進むことができました。

就職活動に限らず、大学生活では自分なりの目標を持つことが大切だと思います。目標があれば、大学時代に何をすればよいか明確になり、面接でも自分の経験を自信を持って伝えることができます。目標が見つからないという人は、2号館前の掲示板に注目してください。留学やボランティアの告知など、目標につながる新しい体験の扉がきっと見つかります。ぜひ目標を持って、有意義な学生生活を送ってほしいと思います。



継続は力なり。
水田 理英

INFO! キャリアセンター 就職課

就職課から学生の皆さんの就職活動に関する情報をお届けします。



2017(平成29)年度就職状況とこれからの就職活動の見通しについて

2017年度も、福岡県内の企業のみならず、全国の企業から3,000件を超える求人を受領、公開しています。近年、求人倍率が上昇する中、新卒採用を充足できない企業が増えており、また、将来的な労働人口の減少に対する懸念もあるため、企業が新卒採用に意欲的に取り組んでいる結果と考えられます。しかし、業種や従業員規模によっては、求人倍率に大きな開きがあることから、昨今報道で取り上げられている「売り手市場」との見方については慎重に捉える必要があります。

就職決定状況

厳選採用が続く中で就職希望者の

97.1%が決定 うち、**5割が**
内定・大企業へ就職!

※大企業＝資本金10億円以上の企業
※公務員、教員等は除く

～学生の健闘が目立った就職状況～

2017年度は3年前から採用活動時期に変更はなかったものの、社会的にインターンシップの認知度が高まり、また、採用意欲の高まりから早期に採用活動を行う企業がみられるなど、戸惑いの中で活動を進めた学生が多かったです。しかし、本学学生の最終的な就職内定・決定率は、就職希望者の97.1%(卒業生総数に対しては86.4%)という、文系大学としては高い数値に達しました。学生の積極的かつ計画的な取り組みに加え、これまでの本学卒業生の活躍による社会での高い評価が反映されたものと考えられます。業種別では、例年通り、金融・保険業、卸・小売業などが高い比率を示しているものの、2016年度と比較し、金融・保険業の比率は減少し、卸売業・小売業、情報通信業、製造業といった業種の比率に伸びが見られます。また、公務員の比率が全体の1割以上となっているのも特徴的と言えるでしょう。

表1 業種別

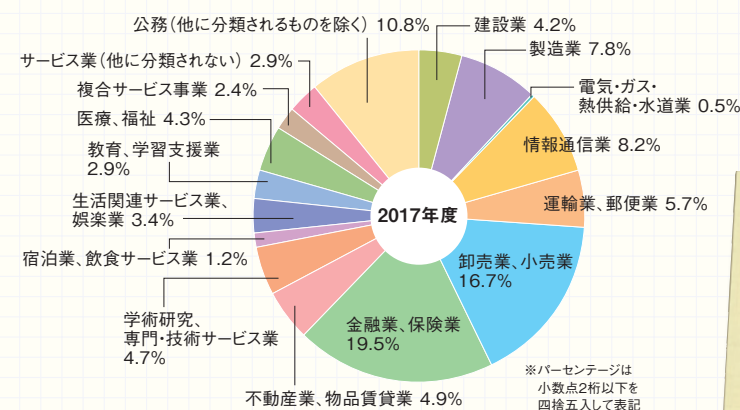


表2 規模別

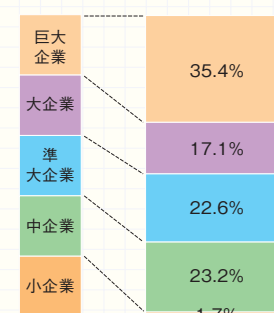
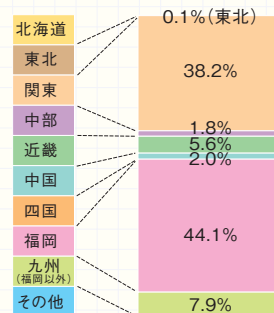


表3 地区別



今後の就職環境の見通し

今年4月にリクルートワークス研究所から発表された2019(平成31)年3月卒業予定者に対する調査では、大卒求人倍率が1.88倍となっています。昨年度の1.78倍、一昨年度の1.74倍から微増ではあるものの毎年増加していますが、先にも述べたように業種や従業員規模によっては求人倍率に大きな差があります。社会的にAI導入が進む中で、より高い能力や資質が文系・社会科学系の大学を卒業する学生に求められます。そのためにも、大学での学修の中においても社会に関心を持つことや、低学年次から将来を見据え、社会人としてふさわしい人間力を高めるために、計画的かつ積極的に学生生活を送ることが重要と言えるでしょう。



教養 たね

西南学院大学の教授が日々研究している専門分野を私たちの「暮らし」に触れて紹介。教授の研究内容をより身近なものにしてみよう。



新しい 経済連携の時代

経済学部国際経済学科
村岡 伸秋 教授

北海道生まれ。北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。北海道大学助手、中国政府奨学金留学生として中国南京大学留学。日本人初の中国農村人民公社滞在調査を実施。専攻は現代中国経済論。

1980年代以降世界各国で政府の役割に関する見直しが進められました。「大きな」政府から「小さな」政府への転換が試みられました。社会主義を追求していた隣の中国はこの例えていえば、「大きな」政府どころか「巨大な」政府とも呼ぶべき国家機能を持っていました。国家が個々の企業の生産活動から人々の生活に至るまで細かくコントロールをしていました。「改革・開放」の時代を迎え、経済活動の多くを市場に任せる、あるいは民間に任せるということが進められました。

私の研究は、こうした時代に国家の役割がどのように変わったのか、あるいは市場で民間の企業や個人がどのような経済活動を行うようになったのかを検証することです。以前は、企業も個人も生産や生活に必要なすべてを国から提供され、国の指示に従って行動すれば済んでいたのに、今ではそれぞれが

豊かさを求めて故郷の土地を離れる人々（農民）はどこへ向かうのか。彼らの行き着く先には何が待っているのだろうか。彼らがいなくなった村には何が残るのか。はてしなき混沌の中国の成長の陰の部分も読み切る。



自分の創意と工夫で行動しなければならなくなりました。また、都市には

「単位社会」というものが存在し、企業や機関など個人が属する職場が生活に必要な多くを提供していました。その単位社会も急速に解体され、人々は市場経済の大海に放たれています。

こうしたことと並行しながら、中国は経済成長を続けてきました。首都北京から南の広州に至る鉄道の京広線の東側から始まった経済成長は、今、その京広線を超えて内陸部に及び始めています。まだ貧困に苦しむ人や地域が残る、格差の拡大という社会問題を抱えながら、この30年余の間、中国の国全体の富と人々の所得は確実に増えました。概算ですが、日本人の平均所得と同等以上の収入を得る中国人はおよそ2億人ほどに達しました。日本の国内市場と同じ規模の市場が2つ近く登場したことが現代中国の一つの事実です。

これは日本の工業製品や農産物に巨大な市場が提供されたことを意味しますし、事実、近年の訪日中国人の増加や彼らの旺盛な購買実績を考えるとその重みを実感できます。しかもこの市場はこれからも拡張を続けることが予想されています。新しい日中の経済連携の時代が到来しているのです。

増補版 『敗北を抱きしめて 上・下』

ジョン・ダワー 著 上巻 三浦 陽一、高杉 忠明 訳
下巻 三浦 陽一、高杉 忠明、田代 泰子 訳（岩波書店 2004年）

生粋の日本研究者であるジョン・ダワー氏の戦後日本論です。戦後の日本の歩みの中に混在した対立をはらむ進歩や保守の諸要素の根源が、非軍事化と民主主義化を実現した新憲法の形成過程にあったことを説明しています。それはおよそアメリカ的なものと日本の民衆意識を内に秘めた米日混交のプロセスであったとされています。日本のその後の社会・政治の複雑性の起源を見事に説明した名著です。



査で現地まで行くなど、座学だけではない生の声からの学びがありました。人から学んだことは鮮明に記憶に残るものです。また、友人と居酒屋で語り合ったり、他愛もないことで笑って過ごしたりしたことも懐かしい思い出です。振り返るととにかく自由で今の私の礎といえる4年間でした。

手伝い、とにかく懐に飛び込んだことです。昔はそんな自由な営業も珍しくはなく、結果もついてきたので仕事が楽しくて仕方なかったです。3年目の25歳の頃に結婚することになり、父親から実家に戻るように言われて再び福岡に戻ります。

三好不動産に入社後は経営について学びを深め、1998年、介という既存のビジネスだけではいけないと感じるようになりまして。今、私が注力しているのは「相続」です。少子高齢化社会において、大抵のオーナーさんは相続で悩みます。そこにスポットを当て土地のプロとして金融の知識も深めつつ、お客様のベストパートナーになれるよう挑戦を続けていくところです。



今後の不動産ビジネスのあり方を提唱した三好氏の著作が好評。

色もあります。自分が成長すれば組織も成長し、業界が活発になり、お客様も喜ぶ、いい循環ができるのです。自分の夢が叶えば今度は誰かの夢を叶える力もつきます。どうか大きな夢を見てください。

人が歩いていない 方へ行けば それは新しい歴史になる。 自分の夢を叶えれば、 人の夢を叶える力にもなる。

株式会社三好不動産の代表取締役社長を務める三好修さん。大学時代に過ごした西新に程近い唐人町を拠点に全国を飛び回り、不動産業界に新風を吹き込むべく、日々チャレンジしているそうです。学生時代の思い出や企業のトップとして歩んできたこれまで、そしてこれからの展望についても語っていただきました。



株式会社三好不動産 代表取締役社長

三好 修さん

【座右の銘】

「全力投球」

私は50歳の時に体調を崩し、以来毎朝5時に起きて大濠公園でウォーキングをしています。最初は短い距離でしたが、そのうち距離が延び、走れるようになり、1年後にはフルマラソンで5時間を切りました。いくつになっても人は伸びるのです。「できない」と決めつけず、自分を信じて全力投球すれば必ず道は開けます。

1977年法学部法律学科卒業
西南学院高等学校出身。大学卒業後、積水ハウス株式会社に入社し、下関の営業所に配属される。1980年、結婚を機に株式会社三好不動産に入社し、先代の下で不動産経営についての学びを深める。1998年、同代表取締役社長に就任し、以降、公益社団法人 全国賃貸住宅経営者協会連合会会長等を務める。



伸び伸びと過ごして
人からの学びを得た
4年間

過去の業績にとらわれず
新しい挑戦をする勇氣

社長に就任しました。そして、時代の変化に合わせた組織改革を進めました。前例にとらわれない変化やアイデアを実践しないと生き残れないという危機感があつたのです。実際、私が常務に就任した直後にバブルが崩壊し、弊社もその余波を全く受けなかったわけではありません。その頃から私は賃貸・売買の仲

欲を原動力にして
壁を越えていけばいい

弊社は元々祖父が開業した質店を母体とし、父の代から不動産業を営んでいます。そして、私がまた現代に合わせて進化させています。独自の形を貫くことはわが家の得意分野です。今後不動産業界の底上げのためにまだまだ走り

続けます。創業100周年を迎える頃、私は95歳ですが、そこまでは現役でやり続けたいと思っています。学生の皆さんにも前例や先人観にとらわれず、どんどん挑戦してほしいと思います。欲を抱いているのです。欲があれば人は頑張ることができます。努力を重ね、壁を越え、達成したからこそ見える景

OB・OGの新著紹介

『透かし窓』

すずき ひさこ
鈴木 比嵯子
(1961年・文学部英文学科卒業)／著

2018年 梓書院 1,700円+税 278頁

昨今の小説は難解なものが多くて読むのに苦労するという。小説はこれまでにもうテーマもスタイルも書き尽くされてしまっており、新書の書き方をしないと相手にされないからだという。一面、真実かもしれない。

四つの短編小説からなる本書はといえ、どの作品も実に分かりやすく読みやすい。小説は結局のところ男と女の話につきるというのが著者の持論らしいが、その通り性愛がテーマとなっており、四つの異なる愛の形が提示されていて、内容的にはどれも結構深刻なのだが、話の運びが面白く展開していくので、一気に読んでしまう。

同人誌に掲載した十数年前の作品群だと聞けば、だから読みやすいのかと納得したくなるが、ならば著者の直近の作品はどんなものか知りたい気もする。



本学教授の新著紹介

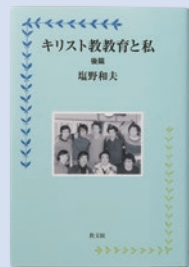
『キリスト教教育と私 後篇』

しおの かずお
塩野 和夫(国際文化学部国際文化学科教授)／著
2018年 教文館 2,000円+税 330頁

本書の主要なテーマは挫折とそこからの克服である。

貧困と差別に痛む地域社会の希望を求めて始めた礼拝はつぶされ、「絶対安静!」を指示され病床に伏す。その時に「生きて下さいね」と慰められ、祈りを込めた歌「我が友に」を贈られ、湧き上がる感動に出合って、挫折を克服した。

大津教会、宇和島信愛教会・伊予吉田教会で働いた10年間は充実した日々だった。ところが、「塩野牧師を辞めさせるために選ばれた」と迫る役員に実りの多くが壊されていく。そんな中で適切なアドバイスを受け、純真な心を持つ猫と出会い、野村学園の子どもたちの版画詩に感動した。さらに、「学生と共に成長し、問題を越えていく」経験を通して、恩師の志が蘇ってくる。こうして「つぶされた」挫折を克服し、キリスト教教育の道へと導かれた。



『ハリウッド映画と聖書』

くりはら うたこ
栗原 詩子(国際文化学部国際文化学科教授)／訳
アデル・ラインハルト／著 2018年 みすず書房 4,800円+税 480頁

大衆的なエンターテインメントである「映画」の中に、ユダヤ・キリスト教の「聖書」がどのように根をはっているかが考察されている。西南学院における映画学研究のトピックとして、「聖書と映画」をめぐる英米圏の書籍は大学図書館に270冊ほど収集されているが、ケーススタディ集・説教題材集の枠をこえる体系的考察は珍しい。モーセやイエスといった聖書系の映画だけでなく、アクション・SF・ラブコメなど幅広いジャンルの映画においても、聖書物語のモチーフや教父アウグスティヌスの「創世記」解釈が脈々と受け継がれてきた伝統が語られている。表紙はデミル監督「十戒」の一場面。「出エジプト記」14章16節の記述と比べながら鑑賞したい。



時代を読む

教授の目線

社会で起こっているさまざまな事象を、先生方が独自の視点で語ります

「情報の洪水の中」

今、私達が激変する社会に住んでいることは言うまでもないことです。新聞を一週間読んだだけでも、現代の課題や社会問題が次々と取り上げられていることがわかります。しかしながら、インターネットなどでは情報が溢れており、どれが正確な情報なのか判断しづらくなっているのも事実です。現代社会においては、家庭で、職場で、また学生生活において、これまで以上に読みとる「力」が必要とされています。

全国大学生協連合会の調査によると、1日の読書時間が「0」の大学生が2017年に初めて5割を超えたそうです。1日の読書時間が「0」と答えた学生は53・1%で前年より4・0ポイント増加し、この5年間で比較すると、18・6ポイントも増えたということです。

これは深刻な問題です。原因はいろいろありますが、学生はアルバイトや授業、課外活動等で忙しく、さらに、1日のスマートフォン利用時間は平均177・3分ですので、本を読む暇がないともいえます。

しかし、誤った情報に惑わされることなく、自分の意志で判断して生きていく「力」を身につけるためには、新聞・雑誌を含め読書が必要不可欠です。昨年、本学には素晴らしい図書館がオープンしました。皆さんがこれから毎日利用することをお勧めします。

SEINAN News & Topics

西南学院大学に関するさまざまな情報をお届けします。

留学生別科終了式を行いました

5月23日、西南コミュニティーセンターで2017-2018年度留学生別科終了式が行われ、17カ国77人の留学生が本学での1年間または半年間の留学生活に別れを告げました。会場には、友人やホストファミリー、来賓、教職員など約100人が集い、共に終了を祝しました。

K.J.シャフナー学長が留学生に終了証書を手渡し、「この留学生生活でさまざまな困難や今まで経験したことのないことに直面し、自分の弱さや強さを認識したことでしょう。この経験を通して、今後皆さんが平和をつくり出す人になってくださることを願っています」と式辞を述べました。

その後、D.L.オルソン国際センター所長の祝辞に続き、初級、初中級、中級、上級の日本語クラスを代表して7人の留学生が答辞を読み上げました。初中級日本語クラスのシャオ・カシンさん(台湾・東海大学)は「ここにいる皆さんがいてくれたから夢のような留学生生活を送ることができました。一つ一つの思い出が輝いています。みんな違う国から来たけれど、心の中に持っているものは同じです。これから新しいステージに進みますが、これまでがんばってきた自分を信じて、恐れずに進みましょう」と熱く語ると会場は大きな拍手と歓声に包まれました。

終了式後には、西南クロスプラザで歓送レセプションが行われ、留学生は教員や友人らとの別れを惜しんでいました。



西南学院どんたく隊がパレードに参加しました

5月4日、ゴールデンウィーク期間中の全国随一のイベント「博多どんたく港まつり」のパレードに「西南学院どんたく隊」が参加しました。

パレードには、G.W.パークレー院長、大学からは、K.J.シャフナー学長、伊藤龍峰学生部長をはじめ、応援指導部吹奏楽団、チアリーダー、アメリカンフットボール部が参加しました。西南学院小学校からも、宮崎隆一校長、児童らが参加。その他にも関係者が多数参加し、西南学院のフラッグを振って行進しました。

パレード当日は天気にも恵まれ、沿道からたくさんの方の応援をいただきました。西南学院は、これからも地域社会の一員として、地域を盛り上げるべく、このような行事に積極的に参加していきます。



2018年度入学式を挙行了しました

2018年度西南学院大学入学式が4月2日に体育館で行われ、学部生、大学院生、法科大学院生合わせて、約2,150人が入学しました。

式ではK.J.シャフナー学長が、聖書の言葉である「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」に触れ、「本学での学びを終える時に、皆さんがもっと輝かしい光を放つ者となるように、また、一人ひとりが持つ原石の中に隠れた宝石が見えてくるように祈っています」と告辞を述べました。

続いて、新入生代表の言葉として、商学部経営学科の廣瀬悠二さんが「将来、社会の先頭に立ち、福岡から全国へ、世界へと羽ばたいていくことができるように、日々を充実させ、仲間同士で切磋琢磨していくことをここに固く誓います」と挨拶しました。

入学式終了後、新入生たちは在学生の歓迎を受けながら、キャンパスを通り抜け、新たな学生生活をスタートさせました。



ラグビー部が創部90周年記念式典を開催

5月19日、ラグビー部が創部90周年記念式典を行い、OB・OG、現役員など約170人が参加しました。1928年創部のラグビー部は、全国地区対抗大学大会で3連覇を含む6度の優勝を誇り、また、94年には九州学生1部リーグを全勝で制し、全国大学ラグビー選手権に出場しています。

当日は、田尻グリーンフィールドにて福岡大学とのOB戦を開催した後、18歳以下の日本代表コーチなどを歴任し、現在国内12チームでコーチングディレクターを務める二ノ丸友幸氏が「強い組織になるために不可欠なもの」と題した講演会を西南コミュニティーセンターで行いました。その後、西南クロスプラザで行われた式典では、K.J.シャフナー学長がラグビー部創部80周年記念誌から故河野監督の「ラグビーは勝利の前に人づくり」という言葉に触れ、「部員たちの目の輝きは、今も昔も変わらない。西南のスピリットが今の時代、そして未来にも伝わっていくことを願っている」と祝辞を述べました。続く祝賀会では、名誉教授で前ラグビー部長の岩間徹氏ほか、ラグビー部の発展に尽力し晩年は学徒出陣による戦没者を偲ぶ活動を続けた故・坂本譲氏らに功労賞が与えられました。

最後に前田茂春OB会長が、「次の100周年に向けて、今まで以上に現役部員をサポートしていきたい」と述べ、田上裕介ラグビー部主将(神学部4年)リードのもと全員で部歌を歌い、西南学院大学ラグビー部の将来にわたる発展を誓いました。



【2019年度 入試制度の概要】

2019年度の一般入試は、2019年2月5日(火)から2月9日(土)の5日間で実施いたします。また、英語4技能試験を利用した入試(英語4技能利用型一般入試)、大学入試センター試験を利用した入試(前期、後期、一般・センター併用型)や各種推薦入試も実施いたします。

2019年度 一般入学試験要項 試験日程、学部、学科・専攻、試験地、出願期間、合格者発表、入学手続

試験日程	学 部	学 科・専 攻	試 験 地	出 願 期 間	合格者発表	入 学 手 続
A日程	2月5日(火)	人間科学部	児童教育学科	本 学	1月7日(月) ↓ 1月22日(火) 消印有効	2月21日(木) 10時 本学構内に掲示
			社会福祉学科	広 島		
			心理学科	山 口		
	2月6日(水)	神 学 部	神 学 科	●山口グランドホテル (2/5(火)～2/8(金)) ●北九州予備校 山口校 (2/9(土)のみ)		
		経済学部	経 済 学 科	-----		
			国際経済学科	長 崎		
	2月7日(木)	商 学 部	商 学 科	熊 本		
			経 営 学 科	●ホテル メルパルク熊本 (2/5(火)～2/8(金)) ●壺溪塾 坪井本校 (2/9(土)のみ)		
		国際文化学部	国 際 文 化 学 科	大 分		
	2月8日(金)	文 学 部	英 文 学 科	宮 崎		
			外国語学科英語専攻	KITENビル コンベンションホール		
		法 学 部	外国語学科フランス語専攻	鹿 児 島		
			法律学科	ホテルマイステイズ 鹿児島天文館		
	2月9日(土)	全 学 部	国際関係法学科	東 京		
			全 学 科 (専 攻)	サビアタワー(2/9(土)のみ)		
F日程	2月9日(土)	全 学 部	全 学 科 (専 攻)	沖 縄		
				沖縄県市町村自治会館 (2/9(土)のみ)		

※「体育関係、学術文化関係において本学が定める選考基準に該当する者で、高校のクラブ部長(教員)、校長の推薦する者」に対して特別選考を行います。
(詳細は9月よりホームページ掲載の一般選抜(一般・4技能・センター・併用型)共通入試要項を参照のこと)。

オープンキャンパスで西南SPIRITを体験しよう!



本学のオープンキャンパスは、西南学院大学の雰囲気身を近くに感じていただくとともに、個別進学相談や模擬講義などのさまざまな催しを通じて、本学への理解を深めていただくことを目的としています。受験を予定されている方のみならず、高校1、2年生や保護者の皆さま、高校・予備校の先生方のご参加も歓迎いたします。

＜オープンキャンパス日程＞

日時：●8月4日(土) 10:00～16:00 ●8月5日(日) 12:00～16:00

場所：大学中央キャンパス(受付)、西キャンパス、東キャンパス



【2018年度入試結果の概要】

ここ数年の受験生の地元志向、安全志向(合格が確実な大学を受験)に大きな変化はありませんが、経済状況や人手不足により好調な就職状況が続いていることから、文系学部人気が継続し、全国的に「文高理低」の傾向が鮮明になっています。

そのような中において、本学の2018年度入試における志願者総数(一般選抜入試全体)は、

前年度に比べてやや減少する(0.5%減)という結果になりました。

これを一般入試と大学入試センター試験利用入試に分けて、それぞれの志願状況や実質競争率についてまとめました。

一般入試

志願者総数は13,205人で前年比446人(3.3%)の減少となりました。これは、今年度の入試において、募集人員の一部を各種推薦入試に移したことが影響していると思われます。全国的に「文高理低」の傾向が鮮明になっており、主要私立大学の多くの文系学部で志願者が増加している中、本学においては志願者数が減少しておりますが、募集人員に対する志願者数の割合では5.2%増加しています。

学科・専攻別の志願状況を見ると、フランス語専攻(20.0%増)、商学科(16.3%増)、児童教育学科(1.3%増)、社会福祉学科(3.3%増)、心理学科(0.5%増)が増加しており、前年度競争率が下がった学科に志願者が集まるという隔年現象も見られました。合格者は3,312人で前年比281人(7.8%)の減少となり、全体の実質競争率は前年度より高い3.9倍でした。

センター利用入試(前期)、(後期)、一般・センター併用型

センター利用入試(前期)の志願者総数は2,566人(11.1%増)、センター利用入試(後期)の志願者総数は592人(3.9%減)という結果でした。合格者は、前期で前年度より多く、後期では少なく発表したところ、実質競争率は上昇し、センター利用入試(前期)が2.0倍、センター利用入試(後期)が2.7倍となりました。

一般・センター併用型入試では、志願者は前年度より116人増加して5,110人となりました(2.3%増)。合格者を前年度より59人(4.9%)少なく発表しましたので、全体の実質競争率は4.3倍と前年度(4.0倍)を上回りました。センター利用入試(前期)やセンター利用入試(後期)と比べると高い倍率を保っています。

各種推薦入試

指定校推薦や公募制推薦などの各種推薦入試については、募集人員83名の増加により、全体の志願者総数は前年度より増加して765人でした(15.9%増)。合格者は前年度より57人増加して693人となりました。公募制推薦、英語専攻指定校選抜、AO選抜入試については、入学許可枠を超える志願者が集まり、今年度も多くの不合格者が出る結果となりました。

近年、推薦入試による入学者が増加する傾向にあります。推薦入学者は早期に合格が決定するため、一般選抜による入学者に比べて基礎学力の不足が懸念されています。本学では、さまざまな事前課題を工夫し、入学までの学力維持・向上を図ることにより、入学後の成績は良好な状況にあります。

学 部	学 科・専 攻	入学定員	一般入試					大学入試センター試験利用入試(前期)					一般・センター併用型入試					大学入試センター試験利用入試(後期)					合 計			
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	競争率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	競争率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	競争率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	競争率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)
神学部	神 学 科	10	6	83	82	30	2.7																6	83	82	30
文学部	英 文 学 科	120	65	743	729	183	4.0	6	158	156	81	1.9	6	383	380	80	4.8	6	46	46	24	1.9	83	1,330	1,311	368
	英語専攻	120	75	790	785	242	3.2	6	122	117	75	1.6	6	401	398	99	4.0	6	37	37	24	1.5	93	1,350	1,337	440
	フランス語専攻	120	63	681	671	146	4.6	9	233	232	97	2.4	7	362	356	66	5.4	5	40	40	13	3.1	84	1,316	1,299	322
	小 計	120	69	717	709	154	4.6	9	187	185	107	1.7	7	333	328	63	5.2	5	39	39	22	1.8	90	1,276	1,261	346
		60	28	353	348	98	3.6	4	38	37	25	1.5	3	172	168	41	4.1	3	26	26	17	1.5	38	589	579	181
商学部	商 学 科	180	98	1,816	1,784	371	4.8	7	204	203	97	2.1	7	746	738	127	5.8	7	60	60	21	2.9	119	2,826	2,785	616
	経営学科	180	99	1,561	1,549	400	3.9	7	151	142	72	2.0	7	597	592	97	6.1	7	56	56	28	2.0	120	2,365	2,339	597
	小 計	360	196	3,105	3,049	771	4.3	14	355	352	175	2.0	14	1,257	1,240	237	5.2	14	111	111	43	2.6	238	4,828	4,752	1,168
経済学部	経 済 学 科	240	128	1,661	1,633	400	4.1	15	421	417	183	2.3	13	311	304	111	2.7	8	68	68	16	4.3	164	2,461	2,422	710
	国際経済学科	240	143	2,025	1,984	480	4.1	15	400	396	187	2.1	13	337	328	128	2.6	8	70	70	36	1.9	179	2,832	2,778	831
	小 計	120	56	738	729	192	3.8	10	172	170	82	2.1	6	413	409	99	4.1	5	42	42	19	2.2	77	1,365	1,350	392
		120	68	811	788	213	3.7	10	161	161	90	1.8	6	376	369	118	3.1	5	44	44	10	4.4	89	1,392	1,362	431
法学部	法 律 学 科	360	184	2,399	2,362	592	4.0	25	593	587	265	2.2	19	724	713	210	3.4	13	110	110	35	3.1	241	3,826	3,772	1,102
	国際関係法学科	360	211	2,836	2,772	693	4.0	25	561	557	277	2.0	19	713	697	246	2.8	13	114	114	46	2.5	268	4,224	4,140	1,262
	小 計	315	190	1,639	1,607	506	3.2	12	327	322	171	1.9	18	460	426	138	3.1	6	44	44	18	2.4	226	2,470	2,399	833
		95	42	499	492	157	3.1	4	89	88	59	1.5	6	130	123	49	2.5	3	36	36	24	1.5	55	754	739	289
人間科学部	児童教育学科	100	60	827	808	216	3.7	5	188	182	93	2.0	5	283	261	63	4.1	5	33	33	10	3.3	75	1,331	1,284	382
	社会福祉学科	100	60	816	803	194	4.1	5	155	154	69	2.2	5	308	271	56	4.8	5	27	27	18	1.5	75	1,306	1,255	337
	心理学科	110	55	784	777	211	3.7	10	118	112	77	1.5	3	384	382	59	6.5	5	36	36	12	3.0	73	1,322	1,307	359
	小 計	120	64	887	871	166	5.2	13	196	191	109	1.8	6	262	278	62	6.1	5	48	48	23	2.1	73	1,314	1,297	370
		120	65	883	872	244	3.6	13	194	191	121	1.6	6	285	256	74	3.5	3	59	59	10	5.9	87	1,421	1,378	449
国際文化学部	国際文化学科	330	179	2,498	2,456	593	4.1	28	502	485	279	1.7	14	928	861	198	4.3	13	120	120	31	3.9	234	4,048	3,922	1,101
	合 計	1,950	1,048	13,205	12,985	3,312	3.9	115	2,566	2,526	1,284	2.0	100	5,110	4,956	1,153	4.3	69	592	592	217	2.7	1,332	21,473	21,059	5,966

※1.下段は、前年度を示す。 ※2.競争率は、受験者数÷合格者数。

2018年度修学懇談会の開催について

修学懇談会は、在学生の父母・保証人と大学とのコミュニケーションを深め、大学と家庭とが協力し、より充実した学生生活を支援するための一助となることを目的として、本学と地方6地区(広島・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)とを隔年で開催しています。

本年度は本学を会場に下記のとおり開催します。なお、今回対象となる父母・保証人の方々には個別にご案内をいたします。

■開催日程

開催時期	学 部	開催時期	学 部
9月15日(土)	商学部、法学部	10月 6日(土)	神学部、人間科学部
9月22日(土)	文学部	10月13日(土)	経済学部、国際文化学部

名誉教授の称号を授与

本年3月31日付けで本学を定年退職した教授に対し、4月1日付けで本学名誉教授の称号が授与されました。名誉教授は、本学専任教授として20年以上在籍し、教育・研究面で多大な功績をあげた教員に授与されるものです。これまでに名誉教授の称号を授与された教員は、下記の2人を含めて109人になりました。

〈2018年4月1日付 名誉教授称号付与者〉

E.B.コヴリーギン 法学部国際関係法学科
磯 望 人間科学部心理学科

西南学院大学公式Facebook、Twitter、YouTubeをはじめました!

みなさまからの「いいね!」を
お待ちしております!



Facebookの
QRコードはこちら



[Facebook]
<https://www.facebook.com/seinan>
[Twitter]
https://twitter.com/seinan_gu
[YouTube]
<https://www.youtube.com/channel/UCo0MQ5b0FNXql6cDJop6NfA>

SEINAN MEMORIAL COLUMN

西南メモリアルコラム No.50

姉妹校宣言の16ミリフィルム

本学は、今から47年前、米国バイラー大学と姉妹校宣言文の交換を行い、本格的な国際交流のプログラムを開始しました。

1971年7月に船越栄一学長が渡米し、同じ時期に米国に出張中の大内和臣教授が同行して、バイラー大学を訪問しました。同じキリスト教南部バプテスト派の大学という関係もあって、同大学のあるテキサス州ウェイコの町では、船越学長らを市長や町の要人たちが多数で出迎えるなど、心温まる歓迎を受けました。

学長が渡米して交わした姉妹校宣言文の調印式には、バイラー大学から、A.V.マコール総長、H.H.レイノルズ副総長、J.E.ウッド教授(国際交流委員長)が出席して、7月12日に同大学の総長室で行われました。船越学長は、その日の記念としてマコール総長とお互いの万年筆を交換した思い出を当時の大学広報紙に執筆しています。

2016年に資料センターが百年館に開設する際、未整理の段ボールから「姉妹校バイラー大学調印式(於バイラー大)」と書かれた16ミリフィルムが発見されました。このフィルムは、収録時間は1分53秒の短いフィルムですが、現地のマスコミがマコール総長にインタビューを行っている様子が撮影されており、貴重な資料であることが分かりました。

そのインタビューでマコール総長は、「両大学間で、学生の交換と、教員の交換をすることを主たる目的としています。西南学院大学から来る学生は、最初は英語やアメリカ文化を学ぶことになるでしょうが、バイラー大学が提供しているさまざまな分野の学問を学ぶことができます。この交換は、西洋と東洋が出会う機会を生み出すことになり、とても意義深い関係性を築くことができるでしょう」と語っています。

これまでのバイラー大学との交換は、本学から派遣した学生137人、教員16人、同大から受入れた学生137人、教員14人となり、300人を超える学生・教員が互いの文化を越えて学び、授業を担当し、交流しました(2018年5月現在)。この姉妹校宣言をスタートとして、今では、国際交流協定校も欧米やアジア地域を含め、27か国92大学と交流の輪が広がっています。

姉妹校宣言でインタビューを受けるマコール総長(前列左から船越学長、マコール総長、後列左からウッド教授、大内教授、レイノルズ副総長)



新規交流協定校(ロシア、ルーマニア、フィリピン)のご案内

本学では海外の大学と国際交流協定を締結し、半年間または1年間の学生交換や短期語学研修を実施していますが、新たに以下の3大学が協定校になりましたのでお知らせします。これにより、本学の国際交流協定校は、27か国92大学(学生交換協定のある大学は24か国80大学)となりました。

■サンクトペテルブルク工科大学(Peter the Great St. Petersburg Polytechnic University)(ロシア) <http://english.spbstu.ru/>

1902年に創立されたサンクトペテルブルク工科大学は、ロシア北西部のサンクトペテルブルク市に位置する国立大学で、学生数は約34,000人。ロシア屈指の工学系研究大学と認定されており、ノーベル賞受賞者を複数輩出するなど世界的に評価の高い大学である。近年は、理系のみでなく、経済・ビジネスの分野においても評価を高めている。本学は、産業経営・経済・貿易学部(Institute of Industrial Management, Economics and Trade)と協定を締結し学生交換を実施する。同大学が位置しているサンクトペテルブルク市は、レーニンград州の州都で、モスクワに次ぐ工業・学術・文化の中心地であり、人口は約500万人。バレエや文学が盛んな芸術都市として知られ、歴史を刻んだ多くの建築物が、周辺の歴史地区と共に世界遺産に登録されている。

●派遣言語:英語 ※語学力等の募集情報は7月の派遣留学生募集説明会でお知らせします。 ●派遣開始時期:2019-2020年度(2019年9月出発)



■ルーマニア・アメリカ大学(Romanian-American University)(ルーマニア) <http://www.ro-am.ro>

1991年に創立されたルーマニア・アメリカ大学は、ブカレスト市に位置する私立大学で、学生数は約3,000人。ルーマニア教育の豊かな伝統と、アメリカの学術教育の教育的価値の促進を目的として設立された大学である。世界各国の約100大学と協定を結んでおり、毎年80か国程度の国から留学生を受け入れている国際色豊かな大学である。本学の学生は主にInternational Business及びComputer Science for Economicsの学士課程プログラムで開講されている英語による科目を学ぶ。同大学が位置しているブカレスト市は、ルーマニアの首都であり、政治・経済・文化の中心地。人口は約230万人。第二次世界大戦前までは「東欧の小パリ」とも呼ばれたブカレストには、伝統的で美しい建築物が数多く残っている。

●派遣言語:英語 ※語学力等の募集情報は7月の派遣留学生募集説明会でお知らせします。 ●派遣開始時期:2019-2020年度(2019年10月出発)



■エンデラン大学(Enderun Colleges)(フィリピン) <https://www.enderuncolleges.com/>

エンデラン大学はフィリピンのビジネスの中心地である首都マニラに位置し、「ホスピタリティマネジメント学部」「経営学部」「アントレプレナーシップ学部」「経済学部」の4つの学士課程を設置している大学で、世界や外資系企業で活躍できるグローバルリーダーの育成を目的として設立された学校である。ランゲージセンターにおいて実施されている外国人向けの英語教育は、質の高い集中的なプログラムとして高い評価を得ており、マンツーマンスタイルを特長とした密度の濃いプログラムによって、短期間でも大きな成果を上げることができる。本学は同大学と語学研修プログラムについての協定を締結する。(派遣留学は対象外)本学では、1日7時間(マンツーマン授業3時間)の集中研修として、TOEFL、IELTS、TOEIC等のスコアを短期間で上げたい学生を対象に2018年度夏期から語学研修プログラムを提供する。同大学があるフォートボニシオは、さまざまな一流企業のオフィスや富裕層のクラスコンドミニウムなどが立ち並び、24時間警備員が配置されている安全な地域である。ショッピングモール、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、総合病院も周辺にあり、利便性が高く、安全面、衛生面ともに信頼性の高い研修先となっている。

●研修言語:英語 ※研修の募集情報はポータルサイトの国際センターのページを確認すること ●実施時期:2018年8月下旬～9月初旬(2週間)
●研修費用:193,000円



詳細は各大学のホームページおよび国際センター事務室の資料をご参照ください。なお、海外派遣留学生制度については国際交流のホームページを参照してください。 <http://www.seinan-gu.ac.jp/international/> 【お問い合わせ】 国際センター事務室 TEL:092-823-3346

訃報



みづさわ かせい
古澤 嘉生 氏
名誉教授

本学名誉教授の古澤嘉生氏が2018年5月17日、逝去されました。88歳。専門は教会音楽。神の平安をお祈りいたします。

九州六大学野球リーグ開幕戦の西福戦(応援合戦)で見事勝利!

4月14日、福岡ヤフオクドームで行われた九州六大学野球リーグの伝統の一戦、西福戦は、本学が4対2で見事勝利を収めました。硬式野球部は今年のスローガンを『捲土重来～日本一の覚悟～』と掲げ、3年ぶりの全日本大学野球選手権大会出場を目標にリーグ戦に臨みました。西福戦には、応援指導部チアリーダー、吹奏楽団をはじめ学生・教職員・OB・保護者など約1,000人が応援に駆け付け、スタンドは大いに盛り上がりました。また、始球式では、シャフナー学長がバッターを務めました。

試合は2回に杉拓馬(法・法4年、自由ヶ丘高)のタイムリースリーベースで先制しました。4回には、同点ホームランを浴びますが、6回に杉拓馬・山下雄大(経・国経4年、筑前高)の連打で2点を勝ち越します。更に8回、主将の田中嘉人(経・経4年、小倉高)がダメ押しのタイムリーヒットを放ち、3点差と試合を優位に進めました。投げては、先発の廣澤俊貴(経・経3年、八幡南高)が、2失点完投の好投を見せ、勝利しました。

最終戦を終え、本学は7勝3敗の3位となり、3年ぶりの全日本大学野球選手権出場とはなりませんでしたが、この悔しさをバネに、秋季リーグ戦での活躍を期待したいと思います。

